

ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

| 項 目 | 内 容 |
|-----|------|
| 1 | 日 時 |
| 2 | 場 所 |
| 3 | 出席委員 |
| 4 | 議 題 |
| 5 | 担当部署 |
| 6 | 開催方法 |
| 7 | 議事内容 |

令和7年3月25日（火） 8時45分から13時30分まで

広島県庁東館7階商工相談室

- ・ひろしま環境ビジネス推進協議会会長 早田 吉伸
- ・広島県商工労働局新産業創出担当部長 空田 賢治
- ・広島県商工労働局経営革新課機動的経済支援担当課長 森川 祐司
- ・広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（ものづくり・新産業支援）出射 太
- ・広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進） 増廣 浩二

令和7年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務の公募型プロポーザル審査

ひろしま環境ビジネス推進協議会事務局
（広島県商工労働局イノベーション推進チーム内）

参集

提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たE社（株式会社サーキュレーション）を最優秀提案者として決定した。

提案者ごとの主な評価・選定理由

【A社：株式会社 eiicon】

<新規事業創出プログラム>

- ・ オープンイノベーションプラットフォームを活用したマッチングについては実績もあり期待できると評価された。
- ・ 県内企業の掘り起こしについて不安が残り、多くの企業の参加が期待できる提案に感じられないと評価された。

<交流の場「SCRUM HIROSHIMA」>

- ・ 2年間の実績を踏まえた改善点を加え、アルムナイ企業の活用による経営層の巻き込みなど工夫されていると評価された。

<全体>

- ・ 当事業の受託実績があり優位性が認められると評価された。

【B社：株式会社コパイロット】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 支援対象企業の募集について、見込みの高い企業をどうリストアップするのか不透明であると評価された。
- ・ 個別支援企業の選定について、事業実現性をどう判断して選定するのかやや不透明であると評価された。

<交流の場「SCRUM HIROSHIMA」>

- ・ 幅広く参加企業を確保できるかどうか疑問が残ると判断された。

<全体>

- ・ 参加企業及び支援対象企業を確保する方策に具体性がなく不安があると評価された。

【C社：フォースタートアップス株式会社】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 個別支援企業の選定前に、経営者の巻き込みが不足していると評価された。
- ・ 県内中小企業の支援先確保に不安があると評価された。

<交流の場「SCRUM HIROSHIMA」>

- ・ 同じ内容のイベントを別地域で開催する提案はあまり効果を感じられないと評価された。

<全体>

- ・ スタートアップ支援に偏った実績となっており、若干不安があると評価された。

【D社：株式会社電通西日本 広島支社】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 支援対象企業の募集について、明確なビジョンを自認できていない県内企業に対する有効なアプローチができるか疑問があると評価された。
- ・ 支援対象企業の募集について、新聞広告だけでは不安があり、他の具体的な方策が必要と評価された。

<交流の場「SCRUM HIROSHIMA」>

- ・ イベントの具体的な内容がイメージしにくいと評価された。

<全体>

- ・ 全体的に良く分析されており堅実な成果が期待できる提案内容であるものの、想定どおりの成果を得るためには、もう少し具体的な実行プランが必要と評価された。

【E社：株式会社サーキュレーション】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 一定の経営者とのコネクションを有しており、直接のアプローチが期待できると評価された。
- ・ 企業が新規事業に取り組む際にプロマネ人材が不可欠であり、その対策および育成につながる提案となっており、有益と考えられると評価された。

<交流の場「SCRUM HIROSHIMA」>

- ・ イベントの提案内容に具体性や効果が感じられないと評価された。

<全体>

- ・ プロマネ人材とのマッチング次第では、効果が出ないモデルであり、状況によって人材の変更が可能であることが実施の前提条件となると評価された。

【F社：株式会社 Relic】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 支援対象企業募集のための連携先に不安があると評価された。
- ・ 個社伴走支援について、具体的な内容が不透明であると評価された。
- ・ 海外VC投資案件などの事例を多数保有しており、県内企業に向けて展開できると評価された。

<全体>

- ・ 他社の提案に比べ特徴的な内容が不足していると評価された。

【G社：東栄汽船株式会社】

<新規事業創出プログラム>

- ・ 当該事業参加企業へのリサーチを踏まえた工夫された提案になっていると評価された。
- ・ 支援先の中小企業の掘り起こしについて、具体性に欠けると評価された。

| | | |
|--|--|---|
| | | <p><u><交流の場「SCRUM HIROSHIMA」></u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 連携を前提とした集客方策であり、期待どおり集客できるかどうか不安があると評価された。 <p><u><全体></u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 事業を進める上での考え方は共感できる部分が多いが、それぞれの目論見を達成できる実行力に不安があると評価された。 |
|--|--|---|